

7. ライフサイクルコストの縮減と維持管理費用の平準化の手法

長寿命化修繕計画による事業効果を示すため、橋梁のライフサイクルコスト(※6)を予防保全型と事後保全型とで比較検討を行い、低い方を採用します。

維持管理費用の平準化では、各年度でばらつきのある修繕費用を年間予算の目安を超えないように、修繕年の「先送り」や「前倒し」を行い、年間予算を平準化していきます。

また、定期点検や修繕工事を行う際には、新技術等の活用検討を行い、事業の効率化やコスト縮減に努めます。

近隣に代替えとなる迂回路が存在し、地元合意が取れている橋に対しては、集約化・撤去、機能縮小を検討し、維持管理費用の縮減を目指します。

※6 ライフサイクルコスト (Life Cycle Cost) : 橋梁の生涯費用で、初期建設コスト、維持管理コスト、更新コストの総和を表します。

8. 長寿命化修繕計画策定の効果

長寿命化修繕計画を策定した場合、今後100年間の維持管理費用は、約39億円となります。一方で、従来の事後的な修繕を行う場合、今後100年間の費用は、約73億円となり、約34億円のコスト縮減効果が見込めます。

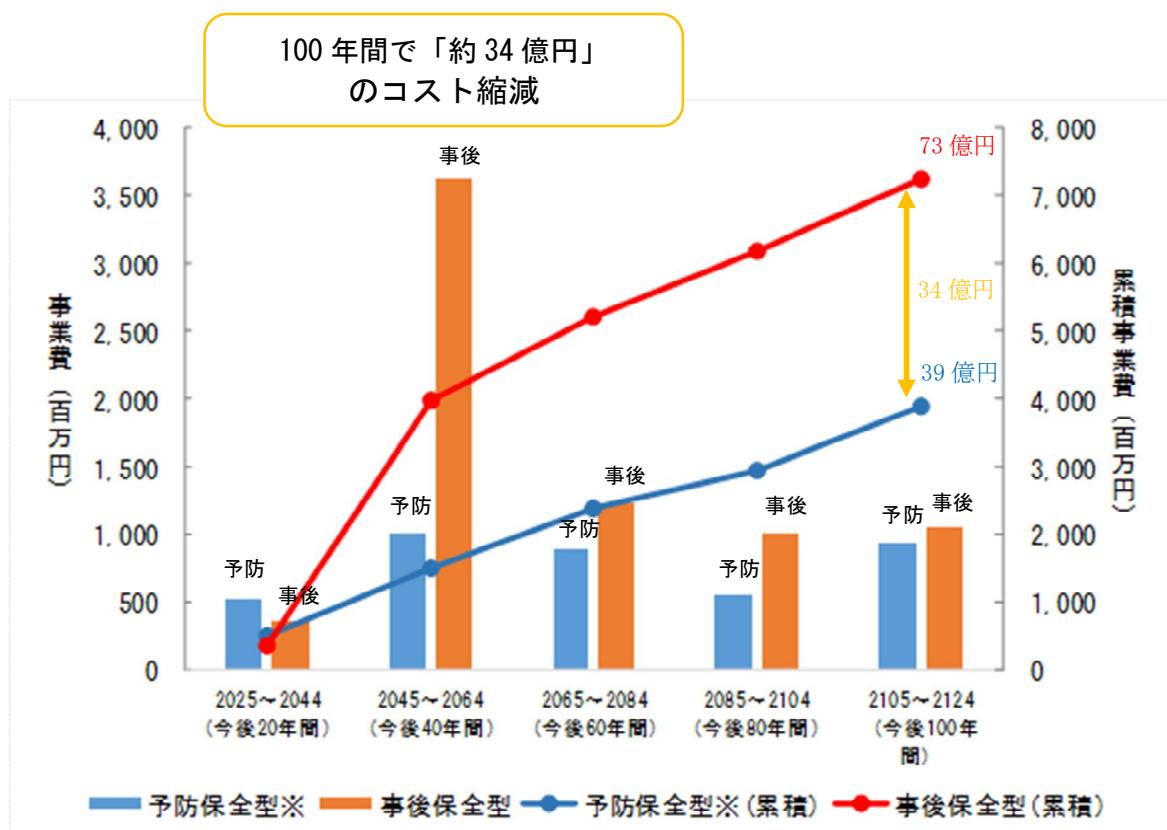


図6 20年毎の事業費の推移と比較

改定履歴

- ・平成 26 年(2014 年) 3 月 計画策定
- ・平成 30 年(2018 年)10 月 対象橋梁数変更 (43 橋→45 橋)
- ・令和 2 年(2020 年) 3 月 最新の定期点検結果に基づき計画の改定 (45 橋→63 橋)
- ・令和 5 年(2022 年) 3 月 新技術活用などによる費用縮減検討 (63 橋→64 橋)
- ・令和 7 年(2025 年) 3 月 最新の定期点検結果に基づき計画の改定 (64 橋)

～大泉町 橋梁長寿命化修繕計画～

令和7年(2025年)3月

発行：大泉町 都市建設部 土木管理課
〒370-0595 群馬県邑楽郡大泉町日の出55番1号
TEL 0276-63-3111(代表) FAX 0276-63-3921
ホームページ <https://www.town.oizumi.gunma.jp>